

# News Release

**Kanadevia**  
Technology for people and planet

カナデビア株式会社

2026年5月28日

## 兵庫県西宮市より西部総合処理センター焼却施設整備・運営事業を受注 ～ 地球環境に負荷の少ない循環型社会・低炭素社会の構築に貢献 ～

カナデビア株式会社を代表とする企業グループは、このほど、兵庫県西宮市（石井 登志郎市長）より DBO（Design：設計/Build：建設/Operate：運営）方式による「西部総合処理センター焼却施設整備・運営事業」を受注しました。



【完成イメージ図】

本事業は、西宮市が有する2つのごみ焼却施設の内、既存の「西部総合処理センター（1997年9月竣工）」の老朽化に伴い、効率よくごみを焼却し、熱利用を行うため、2施設ある焼却施設を1施設に集約した新たな西部総合処理センター焼却施設を整備するものです。西宮市では、ごみの継続的な安定処理や、市の財政負担の縮減と公共サービスの一層の向上を図るとともに、地球環境に負荷の少ない循環型社会・低炭素社会の構築に向け、省エネルギー化や再生エネルギーの有効活用により温室効果ガスの発生抑制を図ることを本事業の目的としています。

当社グループは、新施設の設計・建設および約25年11カ月間（新施設完成からは19年10ヶ月）の運営業務を担いますが、本件受注に当たっては、効率的なエネルギー回収に加え、最

新の省エネ技術、自己託送<sup>※</sup>・地産地消など余剰電力のエネルギーマネジメント、AI・ICT 技術を活用した効果的・効率的な運転などが技術提案で高い評価を受けました。

当社は、1965（昭和 40）年に日本初のごみ焼却発電施設を大阪市に納めており、グループ累計で国内 500 件以上のごみ焼却施設を納めております。ごみ焼却発電はクリーンエネルギーの 1 つであり、安定電源かつ地産地消の電源としても期待されています。当社はごみ焼却発電施設の普及や研究開発等を通じ、今後とも循環型社会・低炭素社会の構築に努めていきます。

※ 自己託送：ごみ焼却発電施設などの発電設備所有者（自治体・企業等）が、その設備で発電した電力を一般の送配電網を通じて、自ら所有する別の施設で使う仕組み。再生可能エネルギー発電設備の導入拡大等を目指して 2013 年に制度化されたもの。

なお、本件の概要は以下のとおりです。

1. 発注者：西宮市（石井 登志郎市長）
2. グループ構成：代表企業 カナデビア株式会社  
構成企業 株式会社あい設計 大阪支店  
前田建設工業株式会社 関西支店  
株式会社日本管財環境サービス
3. 建設地：兵庫県西宮市西宮浜 3 丁目 8 番
4. 施設規模：432 トン/日（ストーカ式焼却炉：144 トン/日×3 炉）
5. 事業期間：設計・建設期間 2026 年 5 月～2035 年 3 月末（約 8 年 11 ヶ月間）  
※既存施設の解体期間を含む  
運営期間 2026 年 5 月～2052 年 3 月末（約 25 年 11 カ月間）  
※新施設の完成（2032 年 5 月末）までを含む
6. 受注金額：562 億 3,310 万円（税抜き）

（終）